

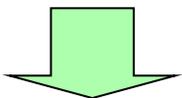
# 府中市(広島県)中心市街地活性化基本計画 (計画期間 19年5月～24年3月)

## 【中心市街地を巡る状況】

○府中家具、鍛冶・鋳物、府中味噌等の伝統産業をはじめ、木工、繊維、金属、化学等多様な産業が集積

○大規模集客施設が郊外の隣接市に多く立地、中心市街地にあった商業施設が撤退

○多くの人々に親しまれてきた、登録有形文化財である老舗割烹旅館「恋しき」の廃業(H2)



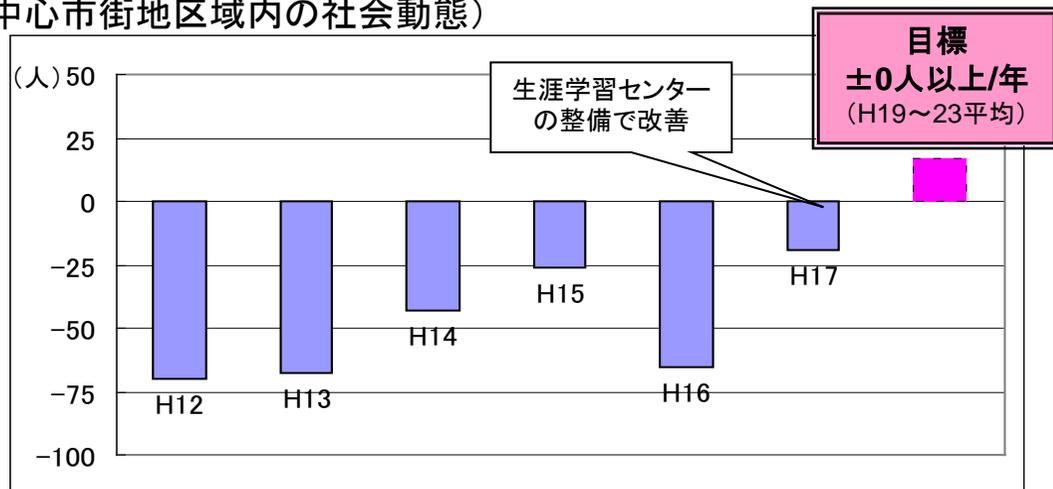
○中心市街地(主要3町)の人口減少  
(H9:8,229人→H18:7,010人[△14.8%])

○中心市街地の小売商業の衰退  
(H9:165億円→H14:114億円[△30.9%])

## 【目標】

目標	指標	現況値	目標値 (H23)
賑わいの創出	中心市街地の歩行者・自転車通行量(平日)	4,284人 (H18)	5,600人
歩いて暮らせる地域の形成	商業集積地区の商店の数	256店舗 (H19.1)	256店舗
	商業集積地区の商店の質	3.1P (H19)	3.1P
	中心市街地区域内の人口動態(社会動態)	-49人/年 (H12~17平均)	±0人以上/年 (*H19~23平均)

## (中心市街地区域内の社会動態)



先駆的な取組である小中一貫教育校の整備、府中家具に代表されるものづくり産業の集積や歴史的な建築物の再生等の地域資源の活用により、働き手にとって住みたくなるまちづくりを推進する。

# 府中市中心市街地活性化基本計画の事業概要

## 市街地の整備

### ○「恋しき」保存・再生事業

- ・H2に惜しまれつつ廃業した、国登録の有形文化財である元老舗割烹旅館「恋しき」を小料理店や喫茶店等の機能を具備した交流・社交の場として整備
- ・地元の有志が㈱恋しきを設立して出資を募ったところ、8,000万円(80口・64者(企業(団体)、個人)の応募有



### ○観光交流センター(仮称)整備事業

産業の街をアピールする場として、家具や木工品、味噌等地元の特産品を展示・販売する場を整備

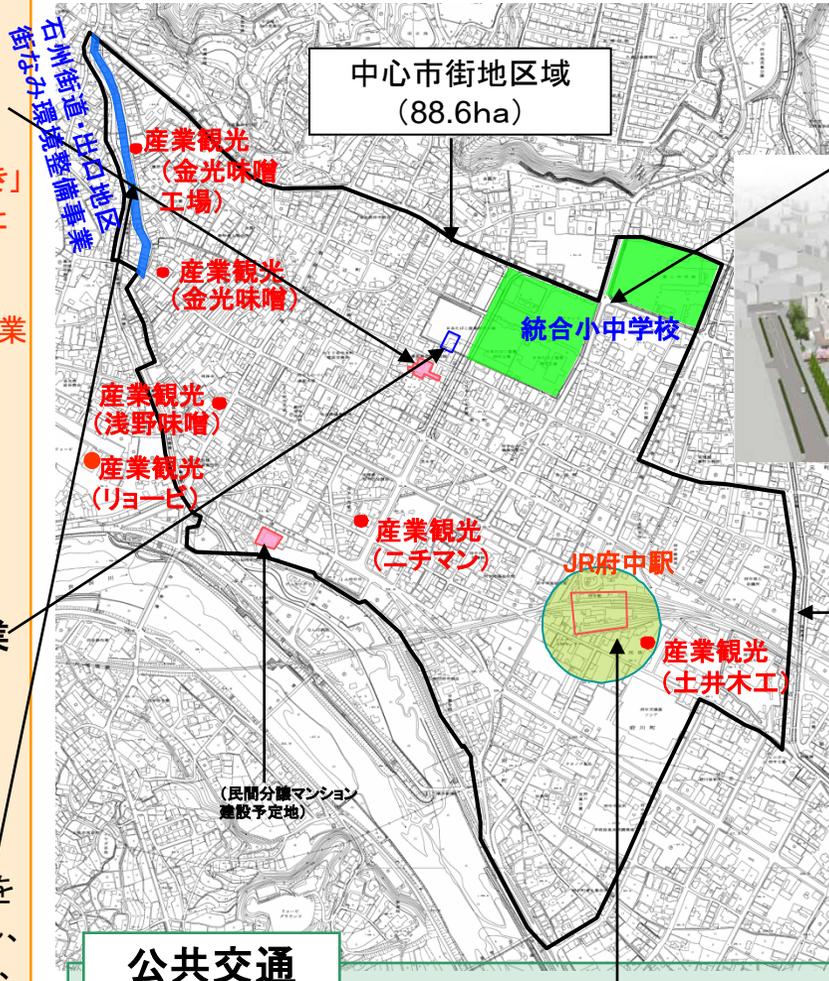
### ○石州街道・出口地区街なみ環境整備事業

江戸時代に、銀商人が大阪方面から福山を経て石見銀山へと帰還する路として使われ、往時の面影を残す石州街道沿いの建物に、街道沿いに住む住民による「まちづくり協定」に基づき修景を実施

修景前



修景後



## 公共交通

### ○JR府中駅周辺整備計画(仮称)策定

自由通路等の整備によって、線路により南北に分断された市街地の一体化を図るとともに、南口駅前広場等駅周辺もあわせて整備

○生活路線バス再編計画(仮称)策定  
スクールバス、高齢者向けバス等の運行検討を含め、路線バスの再編計画を策定



駅前広場整備イメージ

## 都市福利施設の整備

### ○統合小中学校整備事業



既存の中学校と、隣接するJT工場跡地とを一体的に活用し、小中一貫教育校(府中学園)として整備

(小学校は、中心市街地周辺の4校を統合)

## 商業の活性化

### ○チャレンジ・ショップ

空き店舗対策を創業支援事業と連携を図りながら実施

### ○産業観光振興事業

- ・製造業の町としての特色を活かし、工場見学等の産業観光を推進
- ・ものづくりを体験する滞在型観光も今後検討

### ○賑わい創出イベント

地域の「食」に目を向け、府中ならではの挽肉を用いた「府中焼きフェスタ」を開催

